

いまの歴史

新聞をななめ読み、週刊誌を読み飛ばし、倍速モードでニュースを見れば、よくわかる、すぐわかる、最近の歴史。

【宗教】

世紀末はカルトでオカルト
仏でカトリック信者が激減

フランスの民間世論調査機関CSAが、フランス国内の十八歳以上の男女を対象に実施した世論調査によると、国教ともいえるキリスト教カトリック信者が約十年前の調査に比べて激減していることが明らかになった。

「あなたの信仰する宗教は何か」の問いに対して、カトリック信者と答えた者は67%と、前回調査した一九八六年の81%をはるかに下回っており、こういった信者離れをキリスト教・カトリックの牧師たちは深刻な問題として受け止めているという。

一方これと並行して行われた調査によると、悪魔の存在を信じる34%、地獄を信じる33%といった項目が前回調査時よりも、それぞれ10%ほどポイントを上回り、また、奇跡を信じる人は57%、占星術を信じる60%、テレパシーを信じる71%、霊魂を信じる56%など今回は多くの人々が超自然現象に強い関心を示していることがわかったという。

こういった超自然現象に興味を示す傾向が強まっているのは、やはり世紀末ハルマゲドン思想が影響を及ぼしているようだ。

日本中を騒がす新興宗教のような過激なカルト教団が、フランスに登場しないことを陰ながらお祈り申し上げます。アーメン！



まったくもう、聖子と名がつきや二股かけるのしかいないんだから。

【政治】

人気者の素人を立候補させ政権奪回
乗った素人はバカ見放題の自民戦略

政治家になるには、選挙運動を勝ち抜くだけの強力なコネを持っていて、ズバ抜けて頭がいいか、あるいは人一倍腹黒く、悪知恵が働かなければならないというのが一般的定説。

しかし、世の中には必ず抜け道がある。そんなものがどれひとつなくも人並み以上の体力と福祉精神さえあれば、選挙運動を全くしなくても簡単に政治家になれる手段がある。それを実証してくれるのが、あの橋本聖子。次の参院選で自民党比例代表候補名簿一位が約束され、棚ボタで参議院議員の椅子が転がり込んでくる。金メダルを金バッチに代え、銅炭と国会に登場する日は既に秒読み段階で、オリンピックのときのように「ガンバレ！聖子」と応援したい気分になる。

だがそれこそこれを仕組んだ森嘉朗の思うツボ。人気者にやがるうとする自民党の魂胆みえみえなのだ。

聖子も聖子で「本気で福祉を考えたいから」政治家になることを決意したとはいっても、オリンピックと二股かけて「本気」とはよくいえたもの。それだけでなくオリンピックで夏冬の二股をかけ、夏は惨敗の前科があるのに、これでは政治家としての期待はできない。まあ、これも自民党のねらいなんだろうけど。

【法律】

郷に入ったら郷に従うためには
郷のことを知っておけというお話

島国出身の日本人が海外でよく起こすのが、法律上のトラブル。たとえばシンガポールではガムを噛むことやタバコをポイ捨てが法律で禁止されているのに、ガムを噛みながらタバコを吸って警察に捕まる。一番ひどいケースになると、法律では大麻を所持するだけでも死刑に当たるタイで、日本国憲法感覚で大麻を吸って捕まり、実際に死刑宣告を受けている者までいるのである。

とにかく海外にはさまざまな法律があるのだ。そういえば、最近トルコで日本では通りそうにない法案が可決されようとしている。それはセックス保釈法という法案。囚人が二週間に一度、セックスをするために外出できるという法律らしい。なんでも性的欲求を満たさせることによって、刑務所内の平和を維持することとがその狙いらしいのだ。もちろん、犯罪者がシャバに出て誰とでもセックスしなるといいうものではなく、保釈の対象になるのは既婚者のみ、さらにセックスの相手も配偶者に限られているらしい。何かわかるような気もするが、なんとも信じられない法律だ。

こういった日本では常識外の法律が、外国には当たり前のようにあることを忘れてはならないほしい。旅の恥はかき捨てては済まないのだ。

ウィーン菓子 モーツァルト

- 三条店 京都三条河原町(公楽会館) ☎(075)211-7927
- 京都店 新京極通四条(京極東宝ビル) ☎(075)223-1178
- 下鴨店 左京区下鴨松の木町 ☎(075)712-6567

★落着いたティ・サロンで楽しいひとときをお過ごし下さい。



でもってこの人こそ自分の子供には
な一人にも期待してなさそうなのよ。

【流行】

親に夢なし、いわんや子をや
親が望む子の職業は公務員!?

大阪にある織維メーカーのクラレは、毎年春先に新小学生の親を対象にして「将来、子供に就いてほしい職業」という調査を実施している。今年の調査では男女とも公務員が上位を占め、この不況で親の堅実志向が高まっているという結果が出たと発表された。男児の親が望むベスト3は、公務員、スポーツ選手、医者。順位。プロスポーツ選手の内訳をみると、サッカー選手が第一番。ここ数年のJリーグブームで人気を落とす一方だった野球選手は、昨年のイチロー効果や今年のON監督の揃い踏みでプロ野球自体が人気を盛り返すと同時に、昨年の倍近い人気を集めたという。

女児の親が望むベスト3は、教師、看護婦、保母の順番。この頭ぶれは数年間変わっていないが、毎年順番が目まぐるしく変わっている。注目したいのは、四位に公務員が登場したこと、憧れの職業といわれたスチュウワースが7位に後退したこと。将来の夢を子供に描くアンケートなのに、結果はけっこう現実的。子供にかなり期待しているのだから、マザーフィーの法則じゃないけど、こういう親に限って自分の親の思い通りの就職はしていないものだ。足下照合。

【復活】

日本のオジサンウルウルものの遊具
米版メンコ、ポツグが全米で大流行

子供が元気に外で遊んでいる姿をあまり見かけなくなつて、何年が過ぎたのだろうか。諸説によると、学歴重視社会の進行による学習塾の氾濫やら、ファミコンの登場やら、新都市構想には子供が遊べるスペースが組み込まれていないやらで、外で遊ぶよりも家で遊ぶ傾向が年々高くなっているという。だから、駄菓子屋がつぶれ、ペーゴマやメンコといった遊び道具が廃れていくのも無理はない。そのうちこういった遊び道具は、文化博物館の展示物としてしか見られなくなるのかもしれない。海に向かってメンコが大ブームになっているという。メンコブームが子供たちの間に起こっているのはそのイメージから程遠いアメリカ合衆国。アメリカの子供たちの間ではポツグと呼ばれているが、地面に叩きつけてひっくり返せば自分のものになるのは、まさにメンコそのもの。だが、ちよつと違つのはマンガが描かれた円形の厚紙に重い円盤を叩きつけるというアメリカ流にアレンジされたルール。その人気のすこぶりは三年前にハワイで流行つたことにはじまり、今ではポツグ禁止令を出す学校が続出するほど全米を席巻しているという。本家・日本でもメンコ復活なるか?

【ギャンブル】

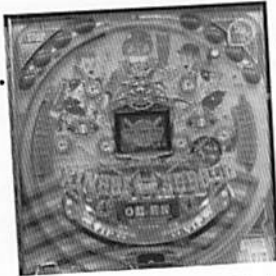
人気者にタカる者あとをたたく
警察がCR機導入に好意的なワケ

不況下の現在、最も好調な産業はギャンブル関係。中でもここ数年で飛躍的な伸びをみせ、いまや三十三兆円産業ともいわれているのがパチンコ業界である。最近では女性客の獲得を重視する店が多くなり、店の雰囲気は綺麗でお洒落になる一方。さらに換金制の普及により暴力団との関係を切る店も多くなり、パチンコ業界はギャンブル場からクリーンなレジャー施設へと大変身を遂げようとしている。

一施設へと大変身を遂げようとしている。だが、これだけの売り上げがあるだけに、悪い噂のないはずがない。いま人気絶頂のCR機と呼ばれるパチンコ台から、不穏な動きが起こっているというのだ。

それは新規開店あるいは新装開店の店がCR機を導入して行く背景には必ず警察の影があるという話。パチンコをしない人にしてみれば、警察がそんなことをして何の得があるのかわからないだろう。が、CR機がプリペイドカード専用機と知れば、勘のいい人はすぐに察しがつくだろう。

つまり、警察がパチンコのカード化を進めればカード会社への天下りの道が作られるというわけだ。もっともこれは噂話だが、事実ならば、警察はヤクザよりもタチが悪い。



このウラにおまわりさんがピツシリ?
これが大人気の球界王EX (西陣)

新しい遊びの